（参考１）

新５００円貨のこれまでの偽造について

平成１５年１１月以降、独立行政法人造幣局（以下「造幣局」という。）における鑑定の結果、新５００円貨の偽造貨幣であることが判明したもの（平成１７年２月２日現在、合計３８０枚）については、以下の通りです（それぞれの特徴については別紙のとおり）。

１．真鍮にニッケルメッキを施したもの（平成 15 年 11 月 27 日 財務省報道発表）
　一昨年１１月から昨年１２月までに金融機関等から日本銀行に持ち込まれ、同行より造幣局に鑑定依頼があったもので、これまでに３０６枚発見されている。

２．銅・ニッケル・亜鉛の合金（平成 16 年 5 月 14 日 財務省報道発表）
　昨年４月から５月までに東京税関より造幣局に鑑定依頼があったもの及び昨年１２月から本年１月までに金融機関等から日本銀行に持ち込まれ、同行より造幣局に鑑定依頼があったもので、これまでに２２枚発見されている。

３．銅・ニッケル・亜鉛の合金
　昨年８月から本年１月までに金融機関等から日本銀行に持ち込まれ、同行より造幣局に鑑定依頼があったもので、これまでに２７枚発見されている。その特徴は、表面に裏面の「平成」の文字が写っていることを除き、基本的に上記２．と同型である。

４．フィリピン５ペソに加工を施したもの
　昨年５月から８月までに金融機関等から日本銀行に持ち込まれ、同行より造幣局に鑑定依頼があったもので、これまでに６枚発見されている。

５．スズ・鉛の合金
　昨年７月から１２月までに金融機関等から日本銀行に持ち込まれ、同行より造幣局に鑑定依頼があったもので、これまでに１９枚発見されている。

（注１）偽造貨幣に関する情報については、金融機関及び日本郵政公社に対しては日本銀行本支店を通じて、また警察当局に対しては当省から連絡し、周知を図っている。

（注２）今回、報道発表を行った偽造貨幣は、上記２．及び３．に含まれる。

（別 紙）

新５００円貨の偽造貨幣の特徴について（その１）

区　分	１．真鍮にニッケルメッキを施したもの （平成15年11月27日 財務省報道発表）	２．銅・ニッケル・亜鉛の合金 （平成16年5月14日 財務省報道発表）	３．銅・ニッケル・亜鉛の合金 （表面に裏面の「平成」の文字が写っていることを除き、基本的に前掲２．の偽造貨幣と同型）
年　銘	平成14年銘、平成15年銘	平成13年銘、平成14年銘	平成13年銘
材　質	真鍮にニッケルメッキを施したもの。当該偽造貨幣は、ほとんどの自動販売機では使用できない。	銅、ニッケル、亜鉛の合金であるが真貨と成分割合が異なる。当該偽造貨幣の特性についてはかなりのバラツキが見られ、自動販売機の判別機能の程度にもよるが、中には自動販売機を通るものもあると考えられる。	銅、ニッケル、亜鉛の合金であるが真貨と成分割合が異なる。当該偽造貨幣の特性についてはかなりのバラツキが見られ、自動販売機の判別機能の程度にもよるが、中にはごく少数ではあるが自動販売機を通るものもあると考えられる。
色	真貨と比べやや白っぽい、あるいはやや黒味がかかっている。	真貨と比べやや白っぽい色合いである。	真貨と比べやや光沢がない。
斜 め ギ ザ	傷があるとともに、ギザ自体に乱れがある。	程度の差はあるが、ギザの乱れと凸部の幅に広い部分がある。	程度の差はあるが、ギザの乱れと凸部の幅に広い部分がある。
潜　像	不鮮明であり、「500円」の文字がほとんど確認できない。	不鮮明であり、「500円」の文字がほとんど確認できない。	不鮮明であり、「500円」の文字がほとんど確認できない。
微　細　線	不鮮明。	不鮮明。	不鮮明。
微　細　点	存在しない。	存在しない。	存在しない。
周縁部の模様	不鮮明であり、真貨にない溝が周囲にある。	丸い模様に一部欠けたものがある。	丸い模様に一部欠けたものがある。
模　様	不鮮明で一部欠落している。	１３年銘には文字及び模様に一部欠けがある。	文字及び模様に一部欠けがある。表面に裏面の「平成」の文字が写っている。
擦　り　傷	―	―	―

新５００円貨の偽造貨幣の特徴について（その２）

区　分	４．フィリピン５ペソに加工を施したもの	５．スズ・鉛の合金
年　銘	平成13年銘	平成12年銘、平成14年銘、 平成15年銘及び年銘不明
材　質	銅、ニッケル、亜鉛の合金であるが真貨と成分割合が異なる。当該偽造貨幣は、ほとんどの自動販売機では使用できない。	スズ、鉛の合金である。当該偽造貨幣は、ほとんどの自動販売機では使用できない。
色	真貨と比べやや黄色っぽい色合いである。	真貨と比べ白っぽく光沢がない。
斜めギザ	垂直に近く、線数は真貨より多い。	不鮮明（測定不能）。
潜　像	不鮮明であり、「500円」の文字がほとんど確認できない。	存在しない、又は確認できない。
微細線	長さや幅が不揃い。	不鮮明で欠落がある、又は確認できない。
微細点	存在しない。	存在しない、又は確認できない。
周縁部の模様	大きさ及び間隔が不揃いで、玉数は真貨より少なく、一部周囲の縁に接している。	表裏面とも測定不能なものが大半である。
模　様	笹及び橘の模様が異なる、桐花及び葉脈の一部欠落、文字の一部が欠落している。フィリピンの５ペソ貨幣に加工を施したものと思われる。	模様が浅く不鮮明で粗雑である。
擦り傷	－	表裏面とも全体に擦傷。

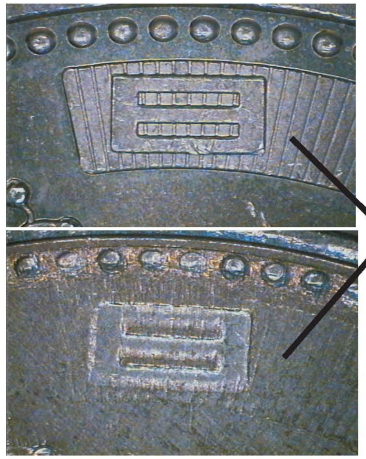
５００円ニッケル黄銅貨幣の偽造貨幣　　(参　考)

１．真鍮にニッケルメッキを施したもの　(平成15年11月27日　財務省報道発表)

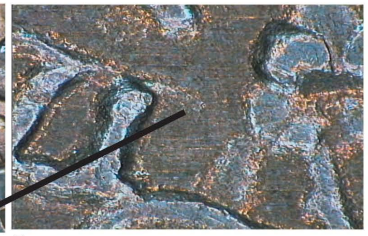
(表)

(裏)

1. 真鍮にニッケルメッキを施したもの

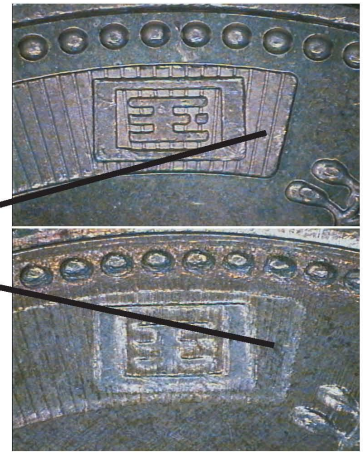


偽貨の微細線は不鮮明である

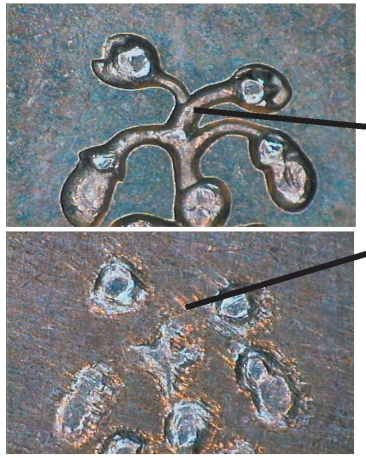


偽貨には茎がない

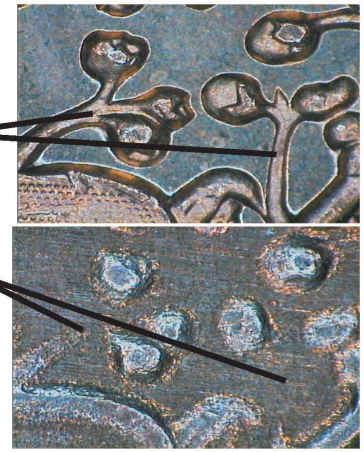
表



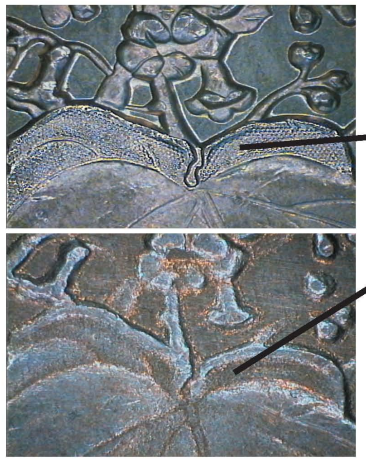
偽貨の微細線は不鮮明である



偽貨には茎がない



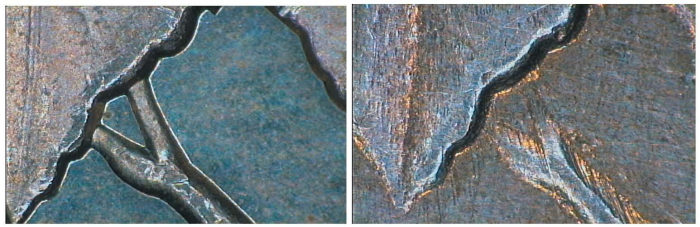
偽貨には茎がない



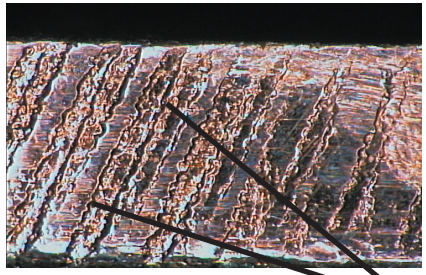
偽貨には微細点がない

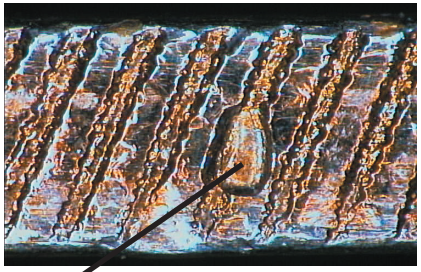
偽貨には真貨にない溝が周囲にある

真貨では葉と枝がくっついているが偽貨では離れている



1. 真鍮にニッケルメッキを施したもの

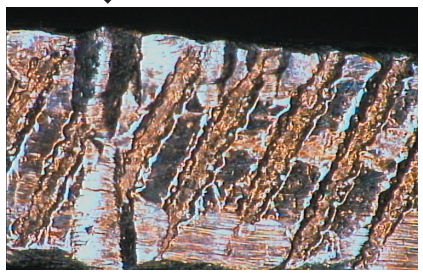


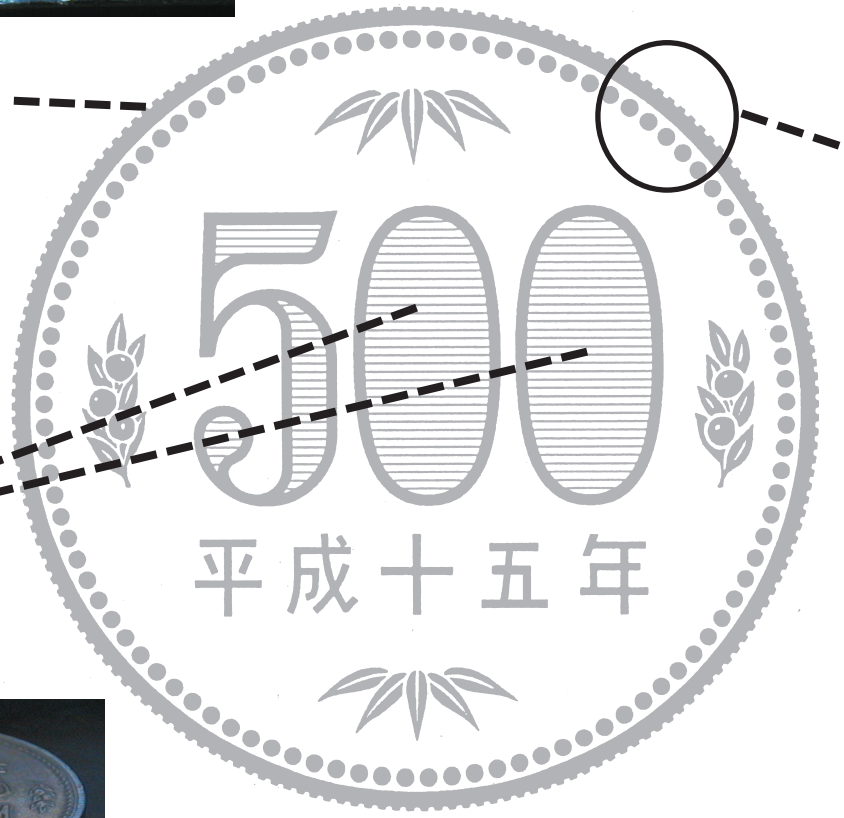


裏

真貨の斜めギザ

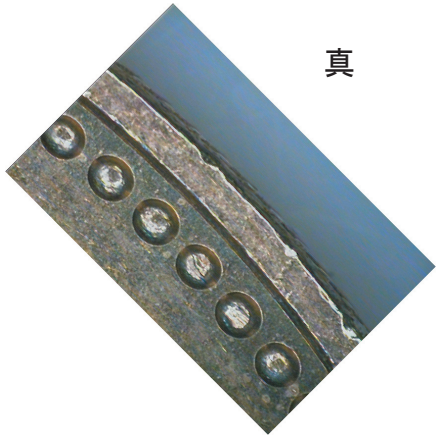
斜めギザは不整合により二重になったり、
何かを押しつけたような圧痕があったり、
深い傷により乱れた部分がある



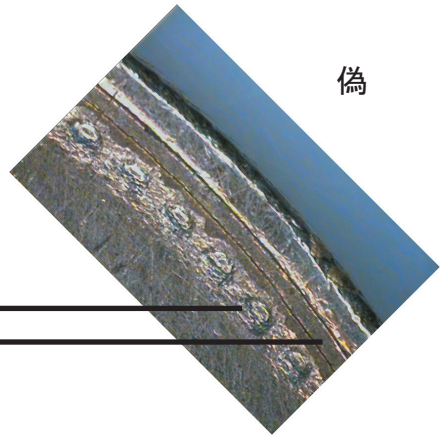


偽貨は潜像が不鮮明

真　　偽



真



偽

偽貨はパールが不鮮明であり
真貨にない溝が周囲にある

５００円ニッケル黄銅貨幣の偽造貨幣

(参　考)

２．銅･ニッケル･亜鉛の合金　(平成16年5月14日　財務省報道発表)

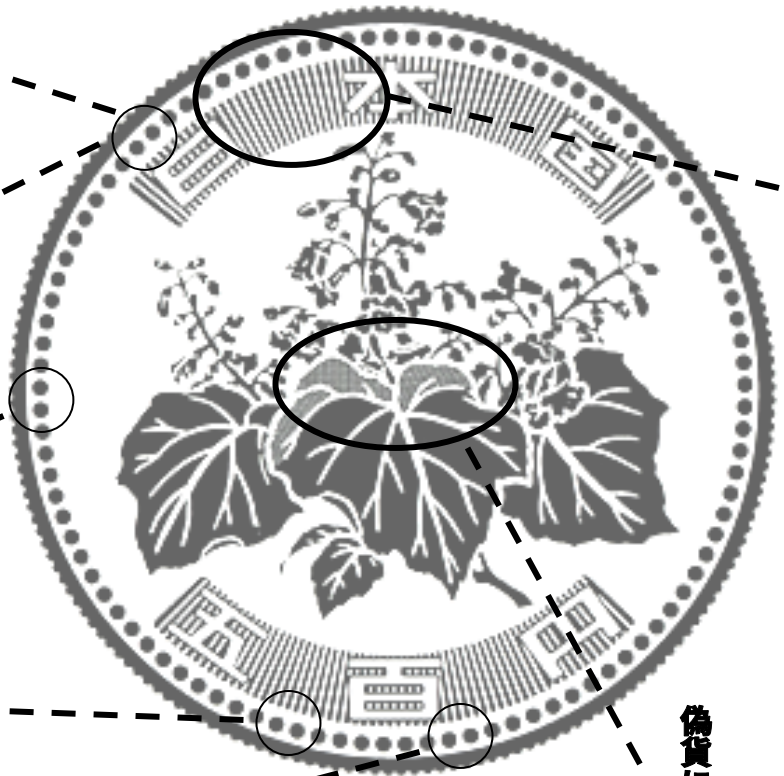
(表)

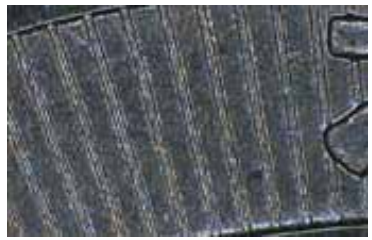
(裏)

2. 銅･ニッケル･亜鉛の合金

表

不鮮明で丸部分の欠けが見られる





偽貨の微細線は不鮮明である

偽貨には微細点がない

2. 銅・ニッケル・亜鉛の合金

裏

真貨

偽貨

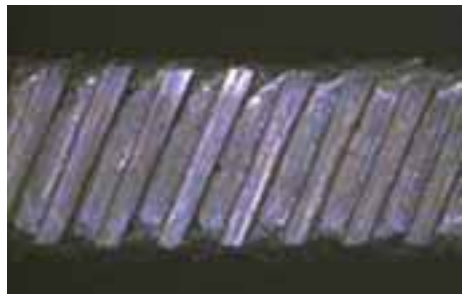
不鮮明で丸部分の欠けが見られる

偽貨は潜像が不鮮明

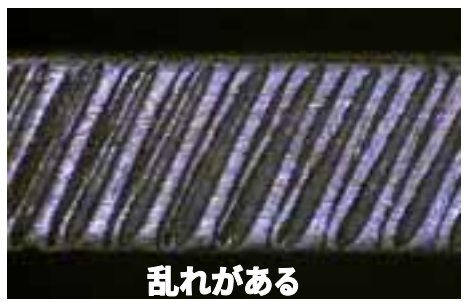
真貨

偽貨

真貨の斜めギザ



偽貨の斜めギザ



乱れがある

凸部分の幅が広い

５００円ニッケル黄銅貨幣の偽造貨幣

(参　考)

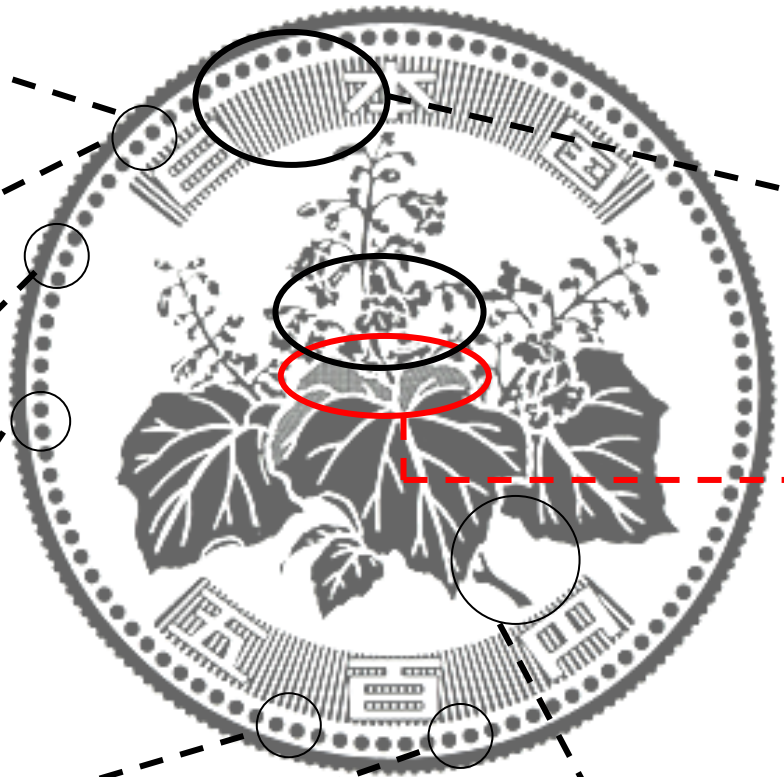
3．銅･ニッケル･亜鉛の合金 (表面に裏面の「平成」の文字が写っている)

(表)

(裏)

3. 銅･ニッケル･亜鉛の合金

表



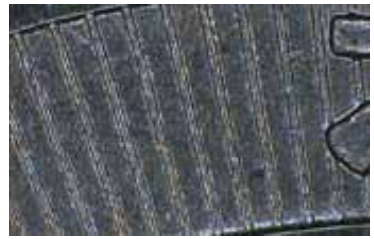
真貨

偽貨

不鮮明で丸部分の欠けが見られる

平成の文字がある
(別添拡大)

真貨



偽貨

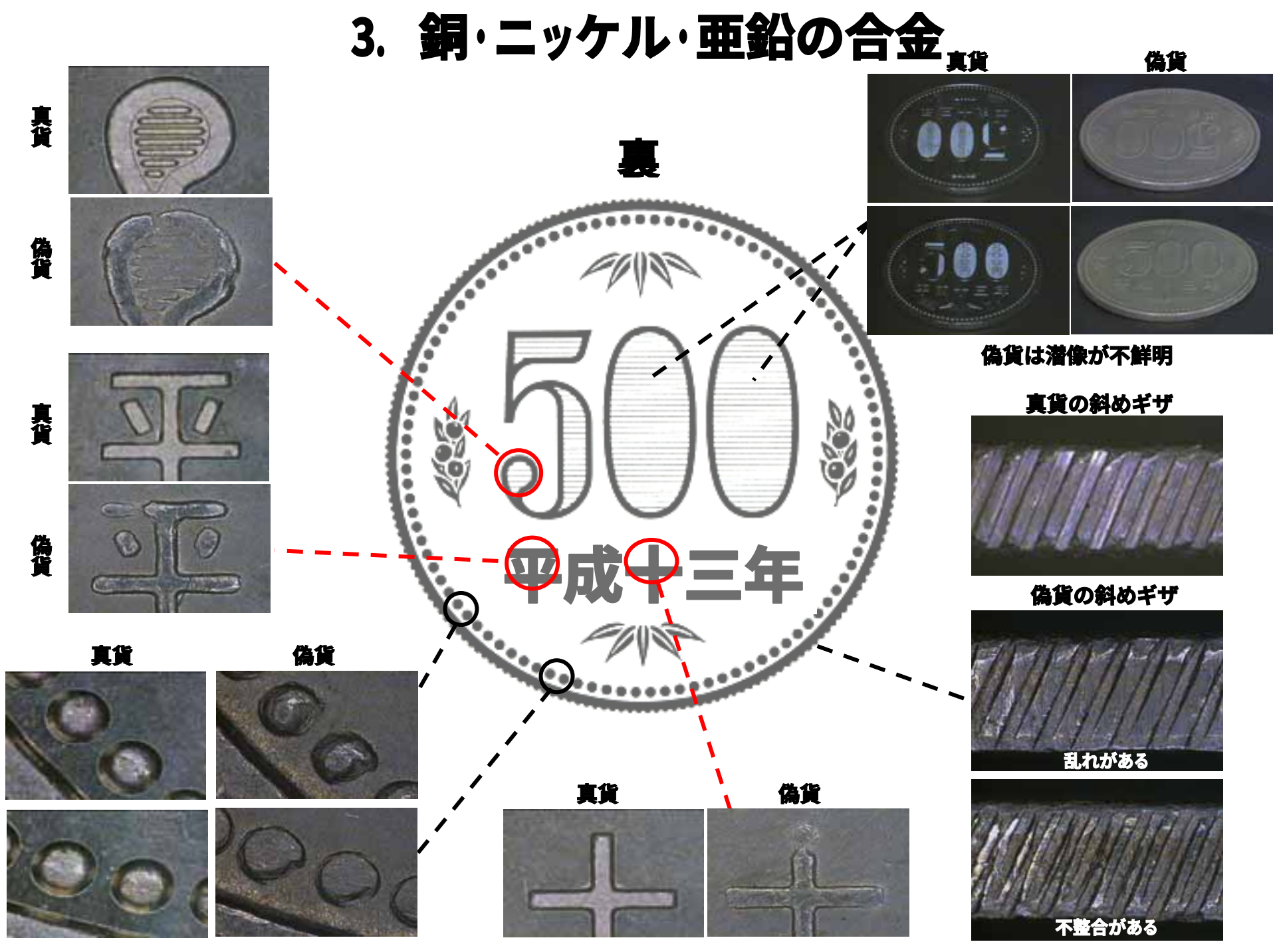
偽貨の微細線は不鮮明である

真貨

偽貨

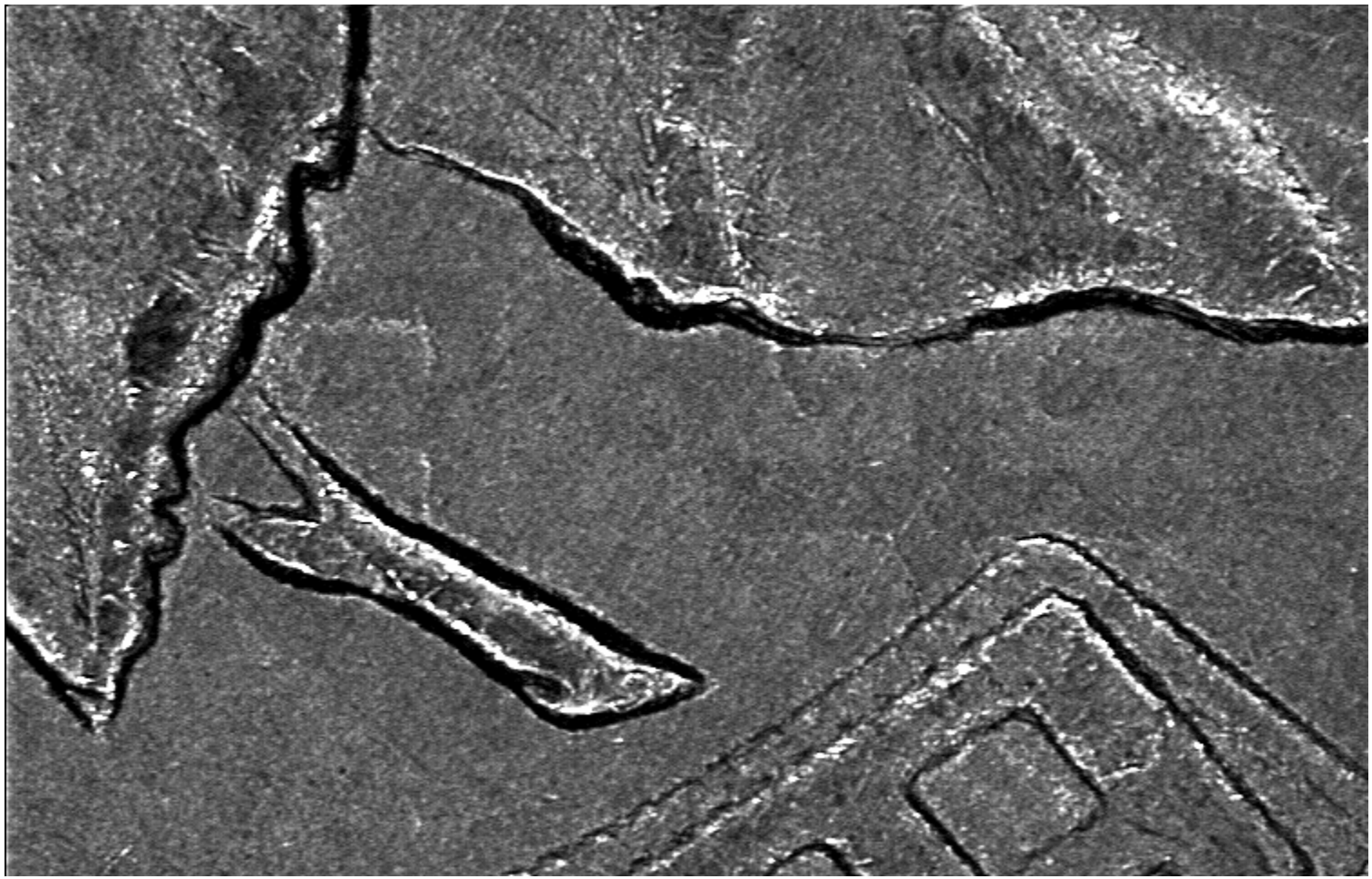
偽貨には微細点がない

3. 銅･ニッケル･亜鉛の合金



3. 銅･ニッケル･亜鉛の合金

平成文字拡大



５００円ニッケル黄銅貨幣の偽造貨幣

(参　考)

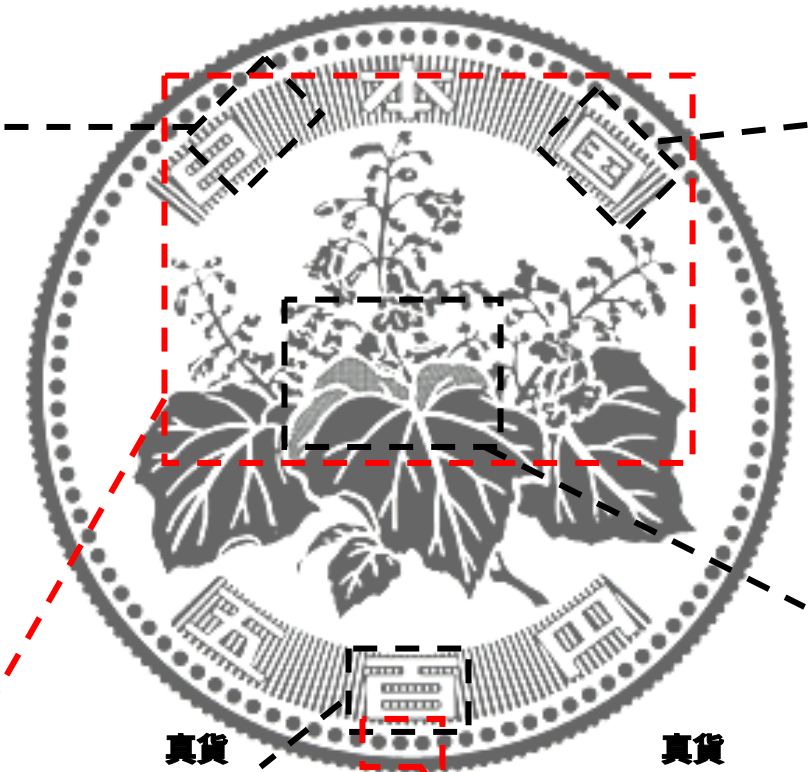
４．フィリピン５ペソに加工を施したもの

(表)

(裏)

4. フィリピン5ペソに加工を施したもの

表

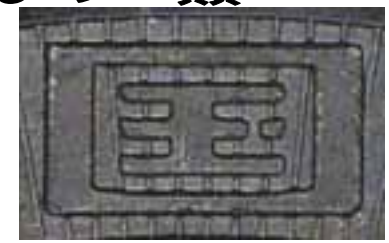


真貨

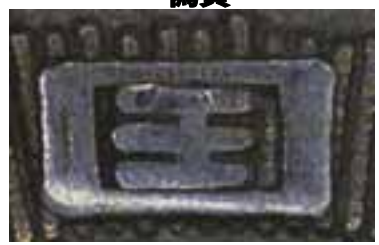
偽貨

微細線の長さや幅が不揃い

真貨



偽貨



国の点が欠落

偽貨には微細点がない

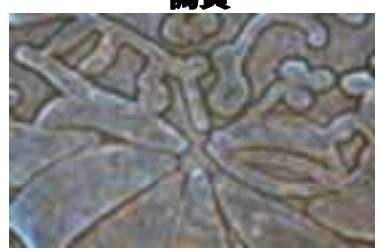
真貨

偽貨

桐花及び葉脈の一部欠落

真貨

偽貨



真貨

偽貨

百の縦線が欠落

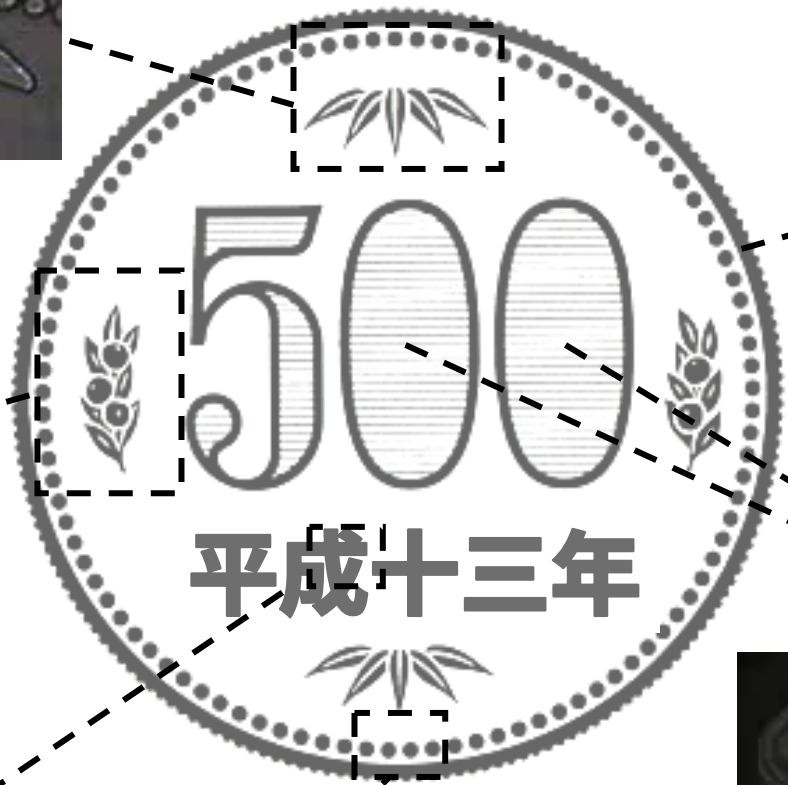
真貨

偽貨

パールの大きさが異なり周囲の縁に接している

4. フィリピン5ペソに加工を施したもの

裏



真貨

偽貨

笹の模様が異なる

真貨

偽貨

橘の模様が異なる

真貨

偽貨

偽貨は太字である

真貨

偽貨

パールは大きさ及び間隔も不揃い

真貨の斜めギザ

偽貨の斜めキザ

垂直に近い

真貨

偽貨

潜像が存在しない

500円ニッケル黄銅貨幣の偽造貨幣

(参　考)

5．スズ･鉛の合金

(表)

(裏)